

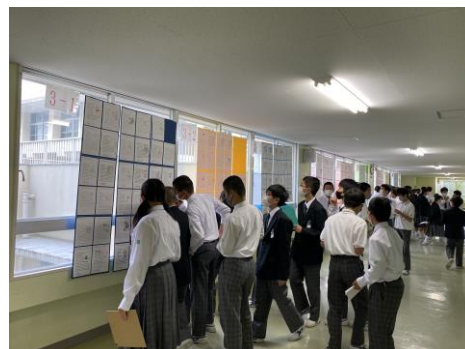
校訓	盡己	令和4年度学校通信 「松崎中だより」 第11号	発行日	令和4年11月7日
教育目標	すべてのことに全力で取り組む生徒の育成 「一生懸命勉強する」「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 佐藤 幸宏

### 3年ぶりの文化発表会

10月27日(木)・28日(金)、「演笑 円唱 援賞」をスローガンに掲げ、第48回文化発表会を開催しました。この2年間は、新型コロナの影響で中止となっていました。今年度、感染予防対策を十分講じた上ではありますが、「合唱コンクール」「展示発表」「舞台発表」を行い、3学年ともに初めての「文化発表会」となりました。保護者の皆様には、入場制限等でご便をおかけしましたが、延べ約430名の方々に合唱を聴いていただくことができたこと、また生徒たちにとっても大きな励みとなったこと、とてもうれしく思います。



27日の展示鑑賞では、教科、学級、部活動等で作成した作品が観る人の足を止め、心を温めていました。見ごたえのある素晴らしい作品が多く、鑑賞時間があっという間に過ぎました。日頃の地道な取組の様子が作品を通して伺うことができ、それぞれの文化を感じとる場ともなりました。



28日午前の合唱コンクールでは、クラスの心を一つにしてハーモニーを奏でました。登下校や休み時間に、合唱曲を笑顔で口ずさむ人が多く、合唱練習中は、学校全体が、歌う喜びに満ち溢れているようでしたから本番が非常に楽しみでした。本当にどの学年・学級も、素晴らしい歌声を披露し、体育館を温かい音色で包み込み、聴く人の心をも揺り動かしていました。そのときの感動が未だに心から離れないのは私だけでしょうか。

作品や演技、歌声、演奏など、一瞬にしてできるものは何一つありません。その過程を大切にしているからこそ、価値のある素晴らしいものが生まれるのです。それを改めて教えてくれた発表会でした。学校での様々な学びをもとに、時間をかけて培われたものが文化となります。文化発表会とは、学習したことを発表するだけでなく、そこで培われた文化を発表する場で

す。合唱、演奏、演技、作品を通して、これまでの学びから培われた文化を披露し合い、自らの培った文化をしっかりと見つめる機会であり、とても有意義なものでした。

保護者の皆様におかれましては、会場・行程の関係で、舞台と展示発表の参観はご遠慮いただきましたこと、ご理解くださり誠にありがとうございます。展示作品につきましては、懇談時等に鑑賞できるよう考えておりますのでよろしくお願いいたします。

## 伊丹市中学校交歓音楽会

11月2日(水)、題54回交歓音楽会が開催されました。市内8中学校1,2年生の代表クラスが集い合唱を聴き合うもので、3年ぶりに開催されました。本校からは、1年1組が「タイムトラベル」を、2年4組が「信



じる」を披露しました。「いたみホール」



の大きなステージで、脚光をあびながら歌

うのは、非常に緊張するものですが、皆堂々と歌う姿には、自信が満ちあふれていました。この体験は、今後の様々なことに生きて働く力となるでしょう。お越

しくくださった保護者の皆様には、たくさん拍手をいただき、誠にありがとうございました。

## 第23回吹奏楽部定期演奏会

11月5日(土)、吹奏楽部の定期演奏会を、東りいたみホールで開催しました。総勢40名の吹奏楽部員が一丸となって心と技を磨いてきた成果を披露しました。花里小学校金管バンドの皆さんにも、友情出演で華を添えていただきました。交流を深める中で育まれる絆の深さを感じ



ました。3年生にとっては最後の舞台でもあり、笑いあり涙ありの感慨深い演奏会でした。最後に後輩からの送る言葉、そして3年生からのメッセージがありました。最後の演奏「栄光の架け橋」そして、アンコール曲「ありがとう」は、涙に濡れながらの演奏でしたが、3年生の背中を見る1,2年生からは、これからの吹奏楽部の伝統をしっかりと引き継いでいこうとする意気込みが伝わってきました。3年生部員の皆さんの今後の活躍に期待しています。親の会の皆様のご支援にも感謝しています。ありがとうございました。